

令和6年度 主な新規・拡充事業

令和6年2月15日

羽 島 市

目次

主要施策のSDGsのゴール

<p>I <u>こども・子育て支援の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ 給食費値上げ相当分への補助 — 1◆ こども医療費の助成対象年齢拡大 — 2◆ 小児インフルエンザ予防接種費用の助成 — 3◆ 赤ちゃん訪問時のおむつ配布	 
<p>II <u>消防・防災力の強化</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ 消防団及び水防団装備品の充実 — 4◆ 災害対応ドローンの導入◆ 雨水出水浸水想定区域の指定に向けた解析	 
<p>III <u>ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ その他プラスチック再資源化 — 5◆ 太陽光発電設備導入の設計委託◆ 照明設備LED化	  
<p>IV <u>市政重要課題への着実な対応・行政DX</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ 旧庁舎解体事業 — 6◆ 公共施設予約管理システムの導入 — 7◆ 生成AIサービスの導入	 
<p>V <u>市制施行70周年記念事業の展開</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ 記念式典及びPR事業 — 8◆ 市民合唱ミュージカル等の関連事業	

こども・子育て支援の充実（1）

【R6予算(案) 68,712千円】

学校給食センター(新規)

◆ 給食費値上げ相当分への補助

事業概要

物価高騰の影響による給食費の値上げ相当分について、市が負担することで保護者の経済的負担を軽減する。

これまでの取組・現状

- R4年度
食材費高騰分の一部を補助するとともに、8月から3月分まで給食費の無償化を実施
- R5年度
物価高騰分に公費を充当し、保護者負担を抑制

事業イメージ

- **R6.4月～R7.3月分について、給食費値上げ相当分を補助し、R5と同水準の保護者負担を維持**

※市立幼稚園、小中学校等の児童生徒等の保護者が対象

<1食あたりの給食費・負担額>

	R5年度	R6年度
小学校等	250円	310円
市補助		60円
保護者負担	250円	250円
中学校等	290円	360円
市補助		70円
保護者負担	290円	290円
幼稚園	240円	300円
市補助		60円
保護者負担	240円	240円

目標・成果

- 栄養バランスがとれて安全安心な給食を安定的に提供
- エネルギー、食品等の価格高騰による市民の家計への影響を緩和

スケジュール(予定)

- R5.12月 給食費値上げに係る規則改正(R6年4月1日施行)
- R6.4月～R7.3月 給食費値上げ相当分について補助

予算(案) 主な内訳

- 給食費値上げ相当分への補助 68,712千円



こども・子育て支援の充実（2）

【R6予算(案) 22,865千円】

保険年金課(拡充)

◆ こども医療費の助成対象年齢拡大

事業概要

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年10月診療分から、こどもに係る医療費助成の対象年齢を、これまでの「15歳到達後の最初の年度末まで」から、「18歳到達後の最初の年度末（高校生世代）まで」に拡大する。

これまでの取組・現状

- 医療費助成
 - ・15歳到達後の最初の年度末までのこどもを対象に保険診療における自己負担分を市が助成
 - ・このほか、重度心身障害者やひとり親家庭に対する助成を実施（対象者には受給者証を交付）
- 受給者証の使い方
 - 県内の医療機関等…医療機関等窓口で受給者証を提示
 - 県外の医療機関等…いったん自己負担分を支払った後、市に申請することで後日助成

目標・成果

- 教育費等の支出がかさむ子育て世代の経済的負担を軽減
- より安心して子育てできる環境を整備

スケジュール(予定)

- R6.3月 条例改正(対象年齢引き上げ)
- 4月～9月 システム改修
申請書の受付、受給者証の送付
- 10月 高校生世代の助成開始

事業イメージ

- 受給者証の交付
 - ・新たに対象となる高校生世代
市が送付する申請書を提出することで受給者証を交付（R6.10月から助成）
 - ・小学1年生から中学3年生まで
有効期限を変更した受給者証を市が送付
- ※未就学児の有効期限は6歳到達後の最初の年度末のため変更なし
- 受給者証の名称変更
 - 現在の「乳幼児等」から「こども」に変更

予算(案) 主な内訳

- | | |
|------------------|----------|
| ○ 医療費助成 | 18,823千円 |
| ○ 事務経費(システム改修費等) | 3,175千円 |
| ○ レセプト審査支払手数料 | 867千円 |



◆ 小児インフルエンザ予防接種費用の助成、赤ちゃん訪問時のおむつ配布

事業概要

任意接種である小児(6か月から中学生)のインフルエンザ予防接種費用について一部助成を行う。また、こんにちは赤ちゃん訪問(生後2か月頃)の際に、乳児用紙おむつを配布するとともに子育て相談センター「羽っぴい」のPRを行い、子育て世帯への経済的支援と様々な困難・悩みに応えられる伴走型支援を強化する。

これまでの取組・現状

- インフルエンザ助成事業
市内に住民登録のある方で接種日に65歳以上の方、または60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方を対象とした高齢者インフルエンザ助成事業を実施
- こんにちは赤ちゃん訪問
生後2か月頃を目安に、保健師または助産師が家庭訪問し、成長発達の確認、育児に関する相談とともに、乳児健康診査の案内を実施

事業イメージ

- 小児インフルエンザ予防接種費用の助成
当該年度内の10月～1月中にワクチン接種した場合、1回あたり1,000円を助成(対象:小児(6か月から中学生))
- 赤ちゃん訪問時のおむつ配布
こんにちは赤ちゃん訪問(生後2か月頃)の際、乳児用紙おむつを1パック配布するとともに子育て相談センター「羽っぴい」をPR



目標・成果

- 小児インフルエンザ予防接種費用の助成
任意接種である小児のインフルエンザ予防接種費用の助成を行うことで、子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、感染予防を推進
- 赤ちゃん訪問時のおむつ配布
全ての子育て家庭が安心して子育てができるよう、子育て家庭に寄り添い、伴走型相談支援と経済的支援を一体となって実施し、子育て世帯の様々な困難・悩みの解消を推進

スケジュール(予定)

- 小児インフルエンザ予防接種費用の助成
・R6.10月～R7.1月 助成を実施
- 赤ちゃん訪問時のおむつ配布
・R6年4月1日生まれ以降の乳児を対象に順次訪問



予算(案) 主な内訳

- | | |
|----------------------|---------|
| ○ 小児インフルエンザ予防接種費用の助成 | 7,177千円 |
| ○ 赤ちゃん訪問時のおむつ配布 | 795千円 |

II 消防・防災力の強化

◆ 消防団及び水防団装備品の充実、災害対応ドローンの導入等

事業概要

消防団及び水防団装備品の充実や、消防署への災害対応ドローンの導入により、火災・地震・異常気象等に対する消防・防災力を強化する。また、内水ハザードマップ作成のため、雨水出水浸水想定区域の指定に向けた解析を実施する。

これまでの取組・現状

- 各種資機材等を順次整備
- 雨水出水浸水想定区域の指定に向けた基本方針を策定

事業イメージ

- **消防団及び水防団装備品の充実**
 - <消防団> 投光器・発電機、高視認性雨衣等を配備
 - <水防団> ヘッドライトを全団員へ配備
- **災害対応ドローンの導入**
 延焼方向の把握、溺者の上空からの検索、火災調査における画像情報の多角化等、消防・防災力を強化
- **雨水出水浸水想定区域の指定に向けた解析**
 市内全域を対象として内水浸水解析を実施



目標・成果

- **消防団及び水防団装備品の充実**
 団員の夜間や悪天候下での活動が強化され、安全性も向上
- **災害対応ドローンの導入**
 ドローンの導入により、災害状況が上空から立体的に把握できるようになり、災害対応能力が向上
- **雨水出水浸水想定区域の指定に向けた解析**
 雨水出水浸水想定区域図を基に、内水ハザードマップを作成

スケジュール(予定)

- **消防団及び水防団装備品の充実**
 R6.4月 水防団へ装備品を配備
 R6.10月以降 順次、消防団へ購入装備品を配備
- **災害対応ドローンの導入**
 R6.10月以降
- **雨水出水浸水想定区域の指定に向けた解析**
 R6年度内 浸水解析及び浸水想定区域の指定

予算(案) 主な内訳

- **消防団及び水防団装備品の充実(拡充)**
 - ・ 消防団装備品 8,569千円
 - ・ 水防団装備品 1,167千円
- **災害対応ドローンの導入(新規)** 2,142千円
- **雨水出水浸水想定区域指定のための解析(新規)** 34,243千円

ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進

【R6予算(案) 19,516千円】
生活環境課、他(新規・拡充)

◆ その他プラスチック再資源化、太陽光発電設備導入の設計委託、照明設備LED化

事業概要

ゼロカーボンシティの実現に向けて、その他プラスチックの再資源化をはじめ、公共施設等における太陽光発電設備導入や照明設備LED化等を推進する。

これまでの取組・現状

- R5.4月～ 太陽光発電設備を導入(北部学校給食センター、図書館、市営斎場)、照明設備をLED化(4施設、駐輪場、バス停)
- R5.7月～ 公共施設等における太陽光発電設備等の導入可能性調査を実施(36施設)

事業イメージ

- その他プラスチック再資源化
ごみの減量化と二酸化炭素排出量の削減を目的に容器包装プラスチック以外の「その他プラスチック」をペレット等に再商品化する事業を実施
(実施済自治体:全国8団体(うち県内1団体))

- 太陽光発電設備導入の設計委託
公共施設に太陽光発電設備等を設置するための設計業務を行い、導入を推進



<対象施設>
保健センター、情報・防災庁舎

- 照明設備LED化
使用中の照明器具を現在の発熱灯、蛍光灯からLED照明に移行し、電気料金及び二酸化炭素排出量を削減



<対象施設>
消防署南分署、市民病院第一病棟
※R5年度補正(予定)
FUKUJUスポーツパークテニスコート、柔剣道道場、弓道場

目標・成果

- その他プラスチック再資源化
ごみの減量と、二酸化炭素排出量削減を推進
- 太陽光発電設備導入の設計委託
2040年度までに設置可能な公共施設へ再生可能エネルギー導入100%を目標
- 照明設備LED化
2030年度までに照明設備LED化100%を目標

スケジュール(予定)

- その他プラスチック再資源化
～R6.9月 再商品化計画策定、国の認定
R6.10月～ 再商品化の実施
- 太陽光発電設備導入の設計委託
R6.4月～ 実施設計
- 照明設備LED化
R6.7月～ 順次工事



予算(案) 主な内訳

○ <u>その他プラスチック再資源化(新規)</u>	5,421千円
○ <u>太陽光発電設備導入の設計委託(拡充)</u>	1,145千円
○ <u>照明設備LED化(拡充)</u>	12,950千円
<関連予算>※R5年度補正分(予定)	73,905千円

◆ 旧庁舎解体事業

事業概要

旧本庁舎及び旧中庁舎の解体工事を令和6年4月から令和7年6月末までの工事期間(15ヵ月)の予定で実施する。

これまでの取組・現状

- R5.3月 旧本庁舎解体工事設計業務委託及び旧本庁舎デジタルアーカイブ等業務委託に関する予算案可決
- 5月 旧本庁舎解体工事設計業務委託(～10月末)
- 6月 旧本庁舎デジタルアーカイブ等業務委託(～R6.2月末)
中庁舎の解体について方針を決定し、関連する予算案可決(解体工事設計追加委託)
- 12月 R6～7年度 債務負担行為補正予算案「旧本庁舎・中庁舎解体工事費(574,000千円)」、「旧本庁舎・中庁舎解体工事監理業務委託料(5,166千円)」の予算案可決
- R6.2月 旧本庁舎・中庁舎解体工事について事後審査型条件付き一般競争入札方式にて入札実施

スケジュール(予定)

- R6.3月議会にて旧本庁舎・中庁舎解体工事に関する工事請負契約の締結に係る議案提出、承認後、本契約締結
- R6.4月より旧本庁舎・中庁舎解体工事着手
- 将来に向けて、旧本庁舎・中庁舎解体工事完了後の敷地内に関する造成・整備内容(水路付け替え、防災機能整備等)について検討

<工事スケジュール(予定)>

- R6. 4月 準備工事(申請、仮囲い、附属建物移設等)
7月 旧本庁舎解体工事(約6～7ヵ月)
- R7. 1月 旧中庁舎解体工事(約3ヵ月)
- R7. 6月 敷地内整地、工事完了

工 程	R6年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
準備工事(申請、仮囲い、附属建物移設等)	R6.4～6月												
旧本庁舎解体工事				R6.7～R7.1月									
旧中庁舎解体工事											R7.1～		

旧本庁舎・旧中庁舎の現況

【旧本庁舎現況】

R3.11月 用途廃止
使用停止により立入り禁止



【旧中庁舎現況】

R5.6月 用途廃止



予算(案) 主な内訳

- 旧本庁舎・中庁舎解体工事費 473,206千円
- 旧本庁舎・中庁舎解体工事監理業務委託 4,259千円

◆ 公共施設予約管理システムの導入、生成AIサービスの導入

事業概要

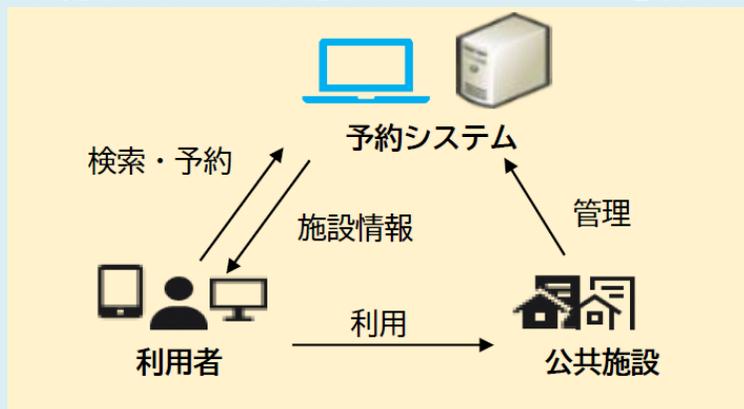
岐阜県及び共同調達する県内市町村における公共施設の予約や空き状況確認ができる公共施設予約管理システムを導入する。また、生成AIサービスを導入し、文章作成や企画立案等に活用して業務の効率化を図る。

これまでの取組・現状

- 公共施設予約管理システムの導入
 - ・市スポーツ施設や防災ステーションにおいて、市独自のシステムを利用
- 生成AIサービスの導入
 - ・AI活用検討チームを設置し、生成AIを試行

事業イメージ

- 公共施設予約管理システムの導入
 - ・岐阜県が主体となり事業者を選定し導入
 - ・スポーツ施設以外の一部施設も同一のシステムを利用



- 生成AIサービスの導入
 - ・入力データを学習に用いない生成AIツールを活用
 - ・使用する際の規制やルールをまとめたガイドラインを策定
 - ・活用事例集を用いた研修を実施し、積極活用を促進

目標・成果

- 公共施設予約管理システムの導入
 - ・岐阜県及び共同調達を行う県内市町村の公共施設の横断的なオンライン予約が可能⇒利便性の向上
- 生成AIサービスの導入
 - ・生成AIの活用により、様々な業務にかかる時間を短縮
例：文章作成(要約、構成提案等)、企画立案(分析手法提案等)

スケジュール(予定)

- 公共施設予約管理システムの導入

R6年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入札・契約		システム構築・導入施設との協議・テスト							実装・運用		

- 生成AIサービスの導入
 - ・R6. 4月より使用開始

予算(案) 主な内訳

- 公共施設予約管理システムの導入
 - ・導入費用 8,534千円
 - ・運営・決済代行費用 830千円
- 生成AIサービスの導入
 - ・使用料 924千円
 - ・導入費用 220千円

V 市制施行70周年記念事業の展開

【R6予算(案) 24,347千円】

※一部は介護保険特別会計に計上

秘書広報課、他(新規・拡充)

◆ 記念式典及びPR事業、市民合唱ミュージカル等の関連事業

事業概要

市制施行70周年という節目を捉え、これまでの先人の歩みに感謝し、歴史、文化、自然やこれまでのまちづくりの成果など羽島市の魅力を再確認し、これを次代に継承するとともに、市民の皆さんとともに新たな羽島市の礎を築く第一歩として、「ともに未来へ、協創のまち はしま」をテーマに掲げて21事業を実施する。

事業イメージ

<主な事業>

○ 市制施行70周年記念式典

- ・市政の各般にわたって功労があった方をお招きし、特に本市の発展に貢献された方を表彰
- ・はしまマスター・アンバサダーの動画による紹介や高校生によるブラスバンド演奏等を実施

○ 市制施行70周年記念PR事業

- ・記念動画やポスターの制作等

○ 市民合唱ミュージカル「ライオンキングの世界」

- ・創作活動を通して市民文化の向上に寄与するため、市民合唱ミュージカル「ライオンキングの世界」を不二羽島文化センターにて公演

○ 防災フェスティバル

- ・起震車による地震体験ブースや消防ブースを設けるなど、防災展示を実施
- ・防災基本条例(仮称)の制定経緯や条例解説等の記念講演を実施

○ 健幸フェスティバル

- ・市の健康課題「メタボリックシンドローム」「高血圧」の改善を主題としたフェスティバルを開催

実施方針

- 広く市民の皆さんが参加し、交流の深化につながること
- 市の魅力(歴史、文化、自然、人財等)を活かし、または新たな魅力を創造し、広く発信すること
- SDGs等次代につながる概念が市民の皆さんに浸透するものであること

予算(案) 主な内訳

(新規)

- 市制施行70周年記念式典及びPR事業 9,393千円

(拡充)

- 市民合唱ミュージカル等の関連事業 14,954千円

※ 予算額は通年比較の増加額

